

ズバリ町政を問う

●一般質問とは議員が町政全般（一般事務・事務の執行状況・将来に対する方針など）について、町長など執行機関の考えを議員個人として問いただすことです。

●一般質問は会議録にもとづき議員個々の自由編集で掲載しております。詳細は会議録（HP・図書館・各公民館に置く）をご参照ください。掲載は質問順としています。

西小児童増 増築で対応するのか

答弁：十分対応できる



牛房 良嗣 議員

牛房 福岡市では、今度35人学級を推進する。当町の場合は増築で対応できるのか、また体育館など施設の運用は。学校教育課長 児童数増のピーク、平成27年度

において、35人学級にも対応できる。運動場、プールは基準をクリアしているが、体育館は補強及び大規模改造工事などで対応する。牛房 小、中学校の校区再編は、全町的な議論を。町長 町内会再編と連動する、住居表示が完了した時点で検討したい。

牛房 65歳以上の高齢者にかかわる医療、介護、健康づくり等々、多岐にわたる50以上の事業を5つの課で担当している。一括一元化する高齢者支援課の実現を。町長 今、検討している。



▲健康づくり教室のようす

高齢者支援課の創設

答弁：今、検討している

●町会の汚職事件
●役場の組織改革
（人事課の創設と税務課の個室化）

発達支援 支援協議会を設置

答弁：断固たる対応でいく



▲小学校の授業のようす



吉田 耕一 議員

吉田 関係機関をお子さんを中心にも有機的に結合させ、密なる情報交換を行なっていく、そのような支援協議会を定期的に開催できないか。学校教育課長 教育相談室の職員、幼稚園、保育

園の担当者、子育て支援課を含めた会議を開催すれば、幼・保から小学校へのスムーズな連携ができ、保護者、児童の不安解消に向けた支援ができる。断固たる対応を進める。

置がスタートしている。東京都では、地域への公開を原則に、土曜日の授業を容認している。当町でも検討しては。教育長 学校、地域、保護者の理解、協力が必要。これらの問題がクリアできれば、学力向上の観点からは可能。検討はしていくが、非常に厳しい問題もある。

土曜日に授業の実施

答弁：検討はしていく

吉田 学習内容を増やす新学習指導要領の移行措

国民読書年 20歳の20冊企画事業

答弁：費用対効果心配する



二宮 美津代 議員

二宮 若者の読書離れが言われて久しい。特に20歳以上の人たちが一ヶ月に一冊も読まない人が多い。自治体が新成人に本を贈る事業を企画しては。

町長 本当に本を読んでもくれるのかと、費用対効果を心配する。二宮 国民読書年を契機に、読書への環境整備を。町長 一人約1000円として約40万円の費用となる。国民読書年を迎えており、しっかりと検討をしてみる。

ない問題、日常的なしつけの習慣づけ、耐性のなさなど三者一体となった連携で保護者へも支援を。学校教育課長 幼稚園児及び保育園児等について、必要な情報の共有などの指導に努め、関係者の交流の機会を設ける。

幼・保・小三者連携を

答弁：交流の機会設ける

二宮 入学時学校に慣れ

●その他の質問
●子宮頸がんへの対策
（ワクチン接種公費負担）



▲元気な子どもたち(あかつき幼稚園)